



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141

春休み号



3月19日(木)に、南林間小学校第52回卒業証書授与式を行うことができました。とても立派な態度で、壇上から自分の夢を堂々と語り、6年間の学校生活を充実したすがすがしい顔をして、思い出がたくさん詰まった学び舎を巣立っていきました。卒業生のこれからの活躍を祈って、その門出を祝福したいと思います。そして今日(3月25日)、1年生から5年生までの児童が修了証書を受け取りました。

子どもたちの「あゆみ」を一人ひとり見ましたが、「勉強をがんばったこと。係の仕事をがんばったこと。友だちの手伝いをしたこと。友だちにやさしく声をかけたこと。」など、たくさんのがんばりや、たくさんのやさしさが見られました。子どもたちが「あゆみ」を持って帰りますが、ぜひ、ご家庭でも、3学期のがんばり、1年間のがんばり、1年間の成長を褒めてほしいと思います。

最後に、素直な南林間小学校の子どもたちの明るく元気な姿を見ると、学校が多くの方々に支えていただいたと感謝しています。保護者の方はもちろんのこと、学校の様々な活動に多く関わっていただいたPTA役員・学校評議員の皆様。子どもたちの登下校の安全を見守っていただいた地域の皆様。いつも様々なイベントを企画・運営し、子どもたちに活躍の場を提供して下さった自治会長・自治会の皆様方等々、数多くのご支援をいただきながら無事1年間を終えることができました。心より感謝申し上げます。

子どもたちは春休みに入りますが、ご家庭におかれましては、休み中の過ごし方につきまして、交通事故等の防止や新学期に向けた取り組み等、有意義なお休みになるようご指導をお願いします。1年間、本当にありがとうございました。

(校長)



校門前の桜のつぼみがほころびはじめました。この一年でお子さんたちは本当にたくましく成長し、四月の不安そうな姿が今では頼もしさに変わっています。時の流れのはやさを感じます。

漫画家・やなせたかしさんは、ご自身が作詞した「アンパンマンのマーチ」の中で、

「**なんのために生まれて なにをして生きるのか こたえられないなんていやだ**」と語っています。

自立とは、自分の力でその“答え”を探していく旅です。進級を前に期待と不安が揺れるこの時期、大人はつい先回りしたり、終わったはずのトラブルを思い出して心配になったりしがちです。

でも、子ども同士がすでに前を向いているなら、そっと手を離すことも大切です。大人が答えを急いで与えすぎると、子どもが自分の答えを見つける機会を奪ってしまいます。失敗も衝突も、すべてが自分らしく生きるための大切な経験です。今は一歩引いて、信じて待ってみませんか。

不安をぬぐい一歩踏み出し、転んでも自分で立ち上がり、今を懸命に生きる子どもたちを、笑顔で迎えられる“心の港”でいられるよう、これからも応援していきたいと思います。

一年間、温かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

(教頭)